

# Towards Innovation in Superplasticity II KOBE

## 超塑性の新しい展開II 国際会議

東京大学大学院新領域創成科学研究科

教授 佐久間 健人

(平成9年度国際会議等開催準備助成 AF-97033)

キーワード：超塑性、力学的特性、成形・接合

### 1. 開催日時

1998年9月20日～1998年9月24日

され、これらの分野における研究を活性化できたものと期待される。

### 2. 開催場所

兵庫県神戸市神戸国際会議場

### (2) 地域(神戸市・兵庫県・日本)に対する効果

世界各国の研究者に阪神大震災の復旧状態をアピールできたとともに港町神戸の有する将来のポテンシャルを示すことができた。日本の超塑性研究の分野のレベルの高さを認識することができた。

### 3. 国際会議報告

#### 3-1 参加者

153名(うち外国人10カ国36名)

[国別の内訳] 米国 11、ロシア 7、イギリス 5、台湾(R.O.C.) 5、韓国 2、ネパール 2、インド 1、スペイン 1、フランス 1

### (3) その他特筆事項

- ① 会議場が宿泊施設と近接しており本規模と目的の国際会議には便利である。
- ② 神戸国際会議場の会議設備が良い。
- ③ 神戸市が国際会議の開催について一部支援する。
- ④ 国内参加者は関西地区が多く、会議準備、会議連絡に都合が良い。
- ⑤ 関西国際空港から近く海外参加者にとっても便利である。

#### 3-2 テーマ

本国際会議は超塑性に関する研究の発表、討論を国際的な規模で行うことを目的としている。会議は金属、合金、複合材料、金属間化合物、セラミックス、超塑性機構に関するすべての内容を含む。

#### 3-3 会議の経過及び成果

初日はオープニングレクチャー、微構造制御および金属間化合物についての発表があった。特に金属間化合物の特徴的な超塑性に注目が集まった。2日目は高速超塑性に焦点を絞り、工業的な実用化の可能性について議論された。またこの日の午後にはポスターセッションも開催された。3日目はセラミックスと粒界、マイクロメカニクスとキャピティ、また4日目は成形と接合、工業的応用について熱心に議論された。

### 4. 謝辞

文部省重点領域研究「超塑性の新しい展開」に関連して開催された今回の国際会議においては、国際的に活躍する一流の研究者によって、超塑性に関する興味深い研究報告発表ならびに討論が交わされた。本会議はこうして大きな成果を収めるに至ったが、これは組織委員の各先生方の御手腕の賜であると考えられる。この場を借りて先生方に深く感謝したい。とりわけ、財団法人天田金属加工機械技術振興財団のご支援により本会議は近年希にみる充実した会議となった。同財団に心からの謝意を捧げたい。

#### 3-4 今後予想される効果

##### (1) 関係学会及び業界に対する効果

本会議は日本金属学会主催で開催したが日本鉄鋼協会、日本セラミックス協会、日本材料学会の会員も多数参加